

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和5年2月24日	
市役所 302 会議室	

令和4年度 第4回
立川市在宅医療・介護連携推進協議会
協 議 資 料

令和5年2月24日（金）

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

報告事項①

新型コロナウイルス感染症関連対策について	
内容	■抗原定性検査キット配布事業【市事業】 第8波及びインフルエンザとの同時流行が懸念されていることから、東京都から提供を受けた抗原定性検査キットを市民に無償で配布。 対象：市内在住で、新型コロナウイルス感染を疑う症状がある方 無症状の濃厚接触者 配布数：1人につき1個 実施期間：令和5年2月末まで ■新型コロナウイルスワクチン接種事業(追加接種)【国事業】 オミクロン株対応ワクチン接種や小児接種、乳幼児接種など医師会と連携して、個別医療機関による接種はもとより、集団接種を含め、状況に応じた接種を実施。

報告事項②

在宅医療・介護サービス資源マップについて	
経緯	立川市では国が掲げた在宅医療・介護連携推進事業の事業項目である「地域の医療・介護の資源の把握」の取り組みとして、平成 29 年度に医療・介護事業所へアンケート調査を行い、「在宅医療・介護資源マップ」を作成して、立川市ホームページに公開した。
経過	■平成 29 年度 10 月 紙版作成。65 歳以上の市民がいる世帯へ全戸郵送。 また窓口・イベント配布実施。 11 月 電子版を市ホームページ上に掲載。 ■平成 30 年度 3 月 立川・昭島・武蔵村山 3 市共用の運営となったことによる 電子版の画面が変化。 ■平成 31 年度 電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーションの情報更新。 ■令和 2 年度、令和 3 年度 電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の 情報更新。 ■令和 4 年度 ・電子版の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の 情報更新。 ・ 3 師会(医師・歯科医師・薬剤師)の情報を追加。
3 師会の 情報追加	健康推進課、3 師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)と連携し、3 師会に加入している医師・歯科・薬局の情報を追加し、在宅医療・介護サービス資源マップに掲載する。

発送スケジュール

■ 医師

発送：令和5年1月6日(金)

回答締め切り：令和5年1月27日(金)

■ 歯科

発送：令和5年1月16日(月)

回答締め切り：令和5年1月31日(火)

■ 薬局

発送：令和5年1月26日(木)

回答締め切り：令和5年2月17日(金)

■ 看護・介護

発送：令和5年1月20日(金)

回答締め切り：令和5年2月10日(金)

Web版更新情報

■ 3師会に加入している医師・歯科・薬局の情報

R5.2.20 現在

	発送	回答	掲載
医師	124	84	84
歯科	76	70	70
薬局	59	50	50
計	259	204	204

■ その他の医師、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の情報

R5.2.21 現在

	発送	回答	掲載
医師	34	1	10
歯科	45	3	18
薬局	39	10	27
看護	20	3	17
介護	178	41	140
計	316	58	212

報告事項③

令和5年度 在宅医療・介護連携推進協議会 日程・内容（案）	
日時	第1回 令和5年5月19日(金) 13:30～15:00 101 会議室 第2回 令和5年8月18日(金) 13:30～15:00 302 会議室 第3回 令和5年11月24日(金) 13:30～15:00 302 会議室 第4回 令和6年2月9日(金) 13:30～15:00 302 会議室
厚生労働省が示した在宅医療・介護連携推進事業の在り方	厚生労働省が示した第8期介護保険事業計画期間からの在宅医療・介護連携推進事業の在り方 《目指すべき姿》 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築
立川市の在宅医療・介護連携推進事業	厚生労働省が示した在宅医療・介護連携推進事業の在り方に照らし合わせた、立川市の在宅医療・介護連携推進事業 ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画） （ア）地域の医療・介護の資源の把握 ㊤在宅医療・介護サービス資源マップの活用と情報更新 ・WEB版の情報更新アンケート。

	(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ㊦ <u>在宅医療・介護連携推進協議会の開催（年４回）</u> ㊦ <u>医療・介護に関する基礎データ収集・整理</u> ・地域包括ケア「見える化」システム、国保データベース（KDB）システム等を活用したデータ分析と課題の抽出。 (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進 ㊦ <u>多職種研修の継続（医療介護連携多職種研修会及びオープンディスカッション、市民啓発シンポジウム）</u> ㊦-1：<u>医療介護連携推進多職種研修</u> ・医療・介護に係る職種を対象に研修会を年に１回実施 ・医療・介護に係る職種を対象に悩み等を相談する場としてオープンディスカッションを年に５回実施。 ㊦-2：<u>市民啓発シンポジウム</u> ・市民に対し、在宅医療や看取り等について考えてもらう機会として、年２回実施。 イ 対応策の実施 (ア) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 ㊦ <u>立川市在宅医療・介護相談窓口担当による相談支援の継続</u> ㊦ <u>出張暮らしの保健室による個別相談の受け付け</u> (イ) 地域住民への普及啓発 ㊦ <u>市民向け講演会の開催の継続</u> ㊦ <u>４/25号、10/10号の広報たちかわへの掲載</u> (ウ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援 ㊦ <u>北多摩西部保健医療圏域内医療機関連携窓口情報 更新継続</u> ㊦ <u>在宅医療・介護サービス資源マップの活用と情報更新の継続</u> ウ 対応策の評価の実施、改善の実施 （地域支援事業実施要綱より抜粋）
--	---

報告事項④

市民啓発シンポジウム開催報告について	
概要	映画「いのちの停車場」上映及び在宅医療談話会 日時：令和5年2月4日(土)13:30～16:30 開場：女性総合センター1階アイムホール 参加人数：151人
内容	1部：映画上映会 在宅医療の現場を通じ、老々介護や終末期医療、積極的安楽死といった現在日本の医療制度の問題点やタブーに向き合う問題提示作、東映映画「いのちの停車場」の上映会。舞台挨拶で、成島監督と女優中山忍様が登壇。 2部：講演座談会 映画医療指導つるかめ診療所・鶴岡優子様、在宅介護支援事業所万年青・上村久美子様、立川市在宅医療・介護連携推進協議会会長・荘司輝昭様による対談会。
参加者の感想	■ 1部『映画「いのちの停車場」上映』に関して ・自分にとってこの先どういう最期を迎えるかと考えさせられた ・在宅医療の現場を垣間見て自分の最期を考えた ・現在の状況と同じだと思う、近い将来必ずやってくる ■ 2部『講演座談会』に関して ・重い話題をととても楽しく話していただき心が軽くなった ・リアルな内容や現場感のある話が良かった ■ 全体を通して ・80代の高齢夫婦となった今いろいろ考えさせられた ・本日は無料でよい時間を過ごしました、ありがとうございました ■ 在宅医療・介護連携に関して、理解が深まったか ・他人事のように思っていたことが身近に感じられた ・自分の最期、家族の最期どうする？と考える

映画「いのちの停車場」上映 及び在宅医療談話会

INOCHI NO TEISHABA
いのちの停車場

2023 年
2月4日(土)
13時30分～16時30分
開場13時
定員:180名(お申込順)
参加無料
舞台挨拶:中山 忍(咲和子の母役)



市民啓発シンポジウム

会場: 女性総合センター1階アイムホール

〒190-0012 東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア

1部 映画上映会

在宅医療の現場を通じ、老々介護や終末期医療、積極的安楽死といった現在日本の医療制度の問題点やタブーに向き合う問題提示作、東映映画「いのちの停車場」の上映会

2部 講演座談会

映画医療指導つるかめ診療所・鶴岡優子さん、在宅介護支援事業所万年青・上村久美子さん、立川市在宅医療・介護連携推進協議会会長・莊司輝昭さんによる3者対談会

申込方法: Googleフォーム(氏名・住所・電話番号を入力)

<https://forms.gle/osNJjL9HWSiBzk8M7>

お問い合わせ先: 立川市医師会 042-525-2597

立川市福祉保健部 高齢福祉課 042-523-2111(内線1471,1472)



主催: 立川市、立川市医師会

報告事項⑤

医療介護連携多職種研修について	
目的・内容	■ 目的 医療と介護に係る各職種が、多職種それぞれの課題について共通認識を深め、医療と介護の連携がスムーズに行えることを目的に、講演会及びグループワーク形式での意見交換を行う ■ 内容 ACP に関する講義の後、多職種で構成されたグループで意見交換を行う
概要	日時：令和5年3月18日(土) 時間：13：30～16：30(13：00 受付開始) 定員：60 名程度(申し込み先着順) 対象：立川市で働く医療関係者・介護関係者 場所：立川市役所 3 階 302 会議室 講師：現在検討中

報告事項⑥

令和4年度東京都在宅療養研修事業「在宅療養推進研修」について	
目的	地域において在宅療養の中心的な役割を担う人材(在宅療養地域リーダー)を育成し、地域の在宅療養推進の取組を促進させること。
研修概要	日時：令和5年1月22日(月) 午前10時から午前12時まで 開催方法：Web会議によるリアルタイム・オンライン講義・グループワーク 実施主体・実施機関：東京都・公益社団法人東京都医師会 立川市参加者： ・訪問看護師：@訪問看護ステーション 齋竹一子様 ・訪問看護師：三多摩訪問看護ステーション 向山時恵様 ・ケアマネジャー：三多摩居宅介護支援事業所 上地由美子様 ・介護福祉士：有限会社シルバンズハウス デイサービスセンター みはらし館 菅原宏悦様 ・地域包括支援センター：南部東はごろも地域包括支援センター 松田奈津美様 ・在宅医療・介護連携窓口担当：水村安代様 ・在宅医療・介護連携窓口担当：國重智美様 ・行政職員：高齢福祉課介護予防推進係 藤丸美佳
研修内容	「2040年の地域包括ケアを考える。介護保険だけで大丈夫？ ～85歳以上が倍増する社会へ備える～」 1. 超高齢者社会における地域包括ケアシステムの必要性 講師：一般社団法人日本在宅ケアアライアンス 副理事長 武田俊彦様 2. 各区市町村内でのグループワーク 「85歳以上が倍増する社会へ備える。 足りないもの、実現できるものは何か？」

報告事項⑦

認知症事業活動報告について	
経緯	令和4年2月1日開催された、認知症疾患医療センター主催の認知症医療介護連携推進協議会において、立川市でこの半年間で実践した認知症事業に関して、認知症地域支援推進員より報告を行った。 認知症医療介護連携推進協議会には、北多摩西部医療圏域の6市が参加しており、当日のオブザーバーである認知症介護研究・研修東京センター・永田久美子氏より、報告は認知症医療介護連携推進協議会のみでなく、地域住民にも知ってもらった方がよいとのアドバイスをいただいたため、ここで報告する。
内容	動画参照。 ※また令和4年1月28日にピアサポート・当事者の仲間づくりの場として、オレンジドア@たちかわを行った。今後継続実施予定である。

協議事項①

医療連携に関する地域課題（地域ケア会議より） 外来受診から訪問診療へ移行する際の主治医変更について	
事例	外来受診から訪問診療への切り替えが必要になった場合に、かかりつけ医から「地域包括支援センターに在宅療養医の選定について相談するように」と案内され、本人や家族が相談に来られた事例が地域包括支援センターで2件あり。地域包括支援センターで在宅療養医を探したが、なかなか見つけることができなかった。 在宅診療への切り替えの他、認知症のBPSDが悪化した場合に、精神科医療へのつながりでも同様のことが起きている現状がある。
課題	医療機関同士が連携できれば、情報共有の観点からもスムーズに行われると考えられる。医療機関同士の連携が図れないものなのか？
委員に意見を求めたい内容	市民が安心して過ごしていくために、医療機関同士が連携して支援を行う必要がある。今回のような事例を防ぐためには、どのような体制・取り組みが必要か。
ご意見・メモ欄	